公表 事業所における自己評価結果

事業所名		atif				
		チェック項目	(21)	いいえ	公表日 工夫していると思う点・改善が必要だと	令和7年 10月 10日 課題や改善すべき点
25			64.61	CICIX	思われる点など できるだけ訪問先にあるものを使うように し、訪問後にすぐに取り組める様にしてい	個々に合った教材を少しずつ婚やしていくこ とを検討する。
· 体 割	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6	1	3.	C.t.ous y D.
整業務改善	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(日標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	7			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設 けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改 第につなげているか。	7			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげてい るか。	/			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等 で研修を開催する機会が確促されているか。		7		
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保暖 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計	7			
	9	画を作成しているか。 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任 者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共進理解の下で、こ	7			
		どもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等	7			
	10	と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が	7			
	11	保育が等が的支援計画が機関制に共有され、計画に対った支援が 行われているか。 こどもの適応行動の伏況を、標準化されたツールを用いたフォー	7			
遊り	12	マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマ ルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	5		
な支	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの 「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支 援内容が設定されているか。	7			
援の提	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	7		共通認識できるよう計画内容の再確認や 実施方法の確認を行っている。	
供	15	支援開始的には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援 の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っ ているか。				
	16	ているか。 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			支援終了後は、毎回行えるようにしていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重 して支援を行っているか。	7			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改	7		訪問した内容は必ず記録し、訪問先に文章 として提出している。	
		薬に繋げているか。 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保	7			
関係機関や保護者との漢	19	育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを 行っているか。	7			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	7			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学館)との間 で、支援内留等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に動言を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。	6	1		
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ 積極的に参加しているか。	7			
連携	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況 や課題について共通理解を持っているか。				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修	7			
	27	の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	28	訪問先施設に対し、事業の建論や訪問支援の目的等について適切	7			
		に説明を行っているか。 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思	7			
	29	の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する概念を設けているか。 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の認明を行い、	7			
保護	30	保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7			
番等へ	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、必要な助言と支援を行っているか。	7			
в 124	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ り、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしてい マャル				
89 89	33	るか。 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備 するとともに、こどもや保護者に問知し、相談や申入れがあった	7			
	34	場合に迅速かつ適切に対応しているか。 変期的に適価等を発行することや、HPやSMS等を活用することに より、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発	7			
	35	個しているか。 個は「個名の財源」、デートの管理 しているか。	6	1		
		個人情報の収扱いに十分解惑しているか。 応書のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配	7			
	36	療をしているか。 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整	7		訪問先より共通理解した内容が聞けたときに	
訪問先施設への説明等	37	え、必要な助言や支援を行っているか。	7		は、その内容に沿った情報提供を心がけている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを 行っているか。	7			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有 を行っているか。	7			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、個類関係を築きながら、専門的な助賞を行っているか。	7			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル 感染度対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとと もに、発生を想定した国際を実施しているか。				
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な 措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	6	1		
	44	か。 ビヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方領につい	6	1		
	45	で検討をしているか。 塩待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	7			
		をしているか。 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	7		鉄当者なし	
	46	に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		